



Innovation Challenge 2023

イノベーションチャレンジ2023

～デジタル人材をトランスフォーム人材へ～

アジェンダ

1. 組込みシステム技術協会とは
2. イノベーションチャレンジとは
3. 概要説明
4. 昨年参加者の情報

主催挨拶

一般社団法人 組込みシステム技術協会 理事

渡辺 博之

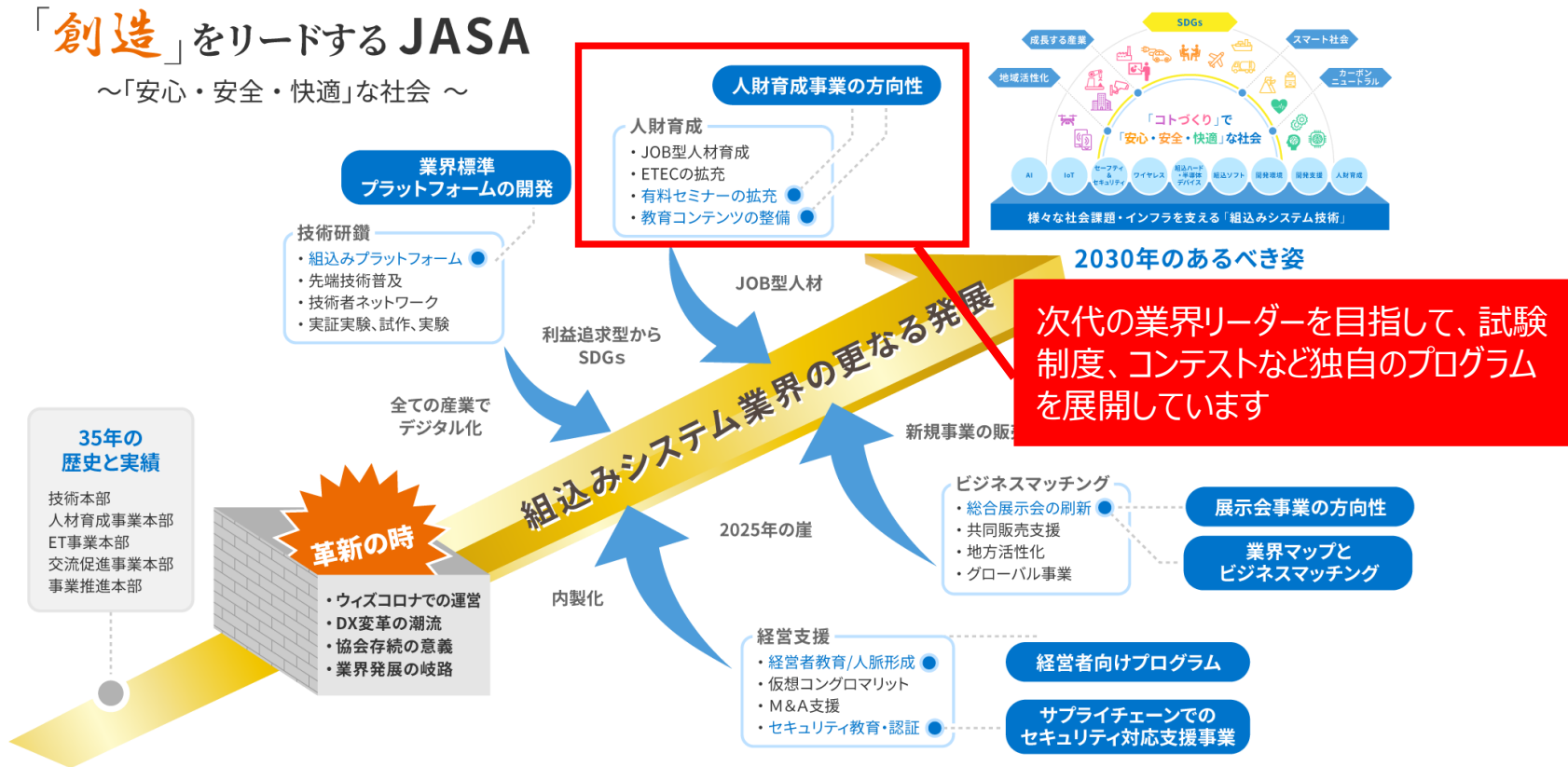
組込みシステム技術協会（JASA）とは

- **J**Apan **E**mbedded **S**ystems **T**echnology **A**ssociation
 - エレクトロニクス、IoT分野の基幹技術である「組込みシステム技術」を代表する業界団体
- 活動目的
 - 組込みシステム技術に関する普及、啓発、教育・資格認定など様々な事業を展開し、会員・業界の便を図るのみならず、地域振興等、広く公益に資すること
- 会員（2023年2月14日現在）
 - 正会員136社 支部会員12社 賛助会員26社
学術会員3団体 個人会員9名

ミッションとロードマップ

「創造」をリードする JASA

～「安心・安全・快適」な社会～



2030年のあるべき姿

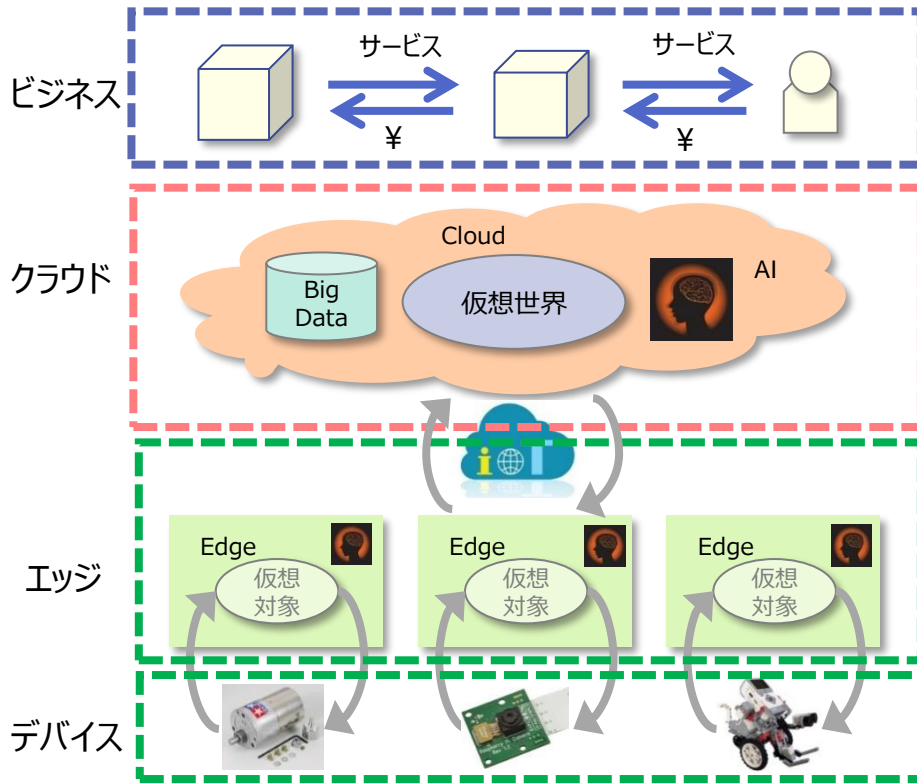
次代の業界リーダーを目指して、試験制度、コンテストなど独自のプログラムを展開しています

JASA 2030年のあるべき姿



次世代人材育成のための2つのコンテスト

ビジネスモデルから制御実装まで、
組み込み業界に必要な次世代人材の育成を目指す



○デジタル技術を使ったビジネスの企画・検討と、それを実現するアーキテクチャの検討

○これからの社会を牽引できる「トランスフォーム人材」の育成

○クラウドからエッジまで
○制御技術とモデリング
○これからの「組み込みエンジニア」を育成

デザイン
&
ビジネス

エンジニアリング
&
テクノロジー

イノベーション
チャレンジ

ETロボコン

最近、話題のチャットGPT



The screenshot shows a Yahoo! Japan news article. The header includes the Yahoo! Japan logo and navigation links. The article title is '指示待ち族の仕事はなくなる、チャットGPTの衝撃は凄すぎる'. The author is JBpress. The article content discusses the impact of ChatGPT, mentioning that it is a large language model developed by OpenAI and that it is expected to change the job market for 'waiting for instructions' workers. It also notes that while AI has been in the spotlight, the specific application of conversational AI is still limited.

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得
ログイン ぶるさと納税でPayPayポイントもらえる

キーワードを入力 | Q

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング

主要 | 国内 | 国際 | 経済 | エンタメ | スポーツ | IT | 科学 | ライフ | 地域

指示待ち族の仕事はなくなる、チャットGPTの衝撃は凄すぎる

2/7(火) 10:02 配信 19

JBpress

■ AIの本命、チャットGPT

「ChatGPTはOpenAIによって開発された大型言語モデルです。2022年末から米シリコンバレーで話題となり、現在は日本でも注目されています。

AIは長い間注目されてきましたが、特に会話型AIの分野で具体的な利用機会は少なかったのが特徴でした。

チャットGPTの登場で我々の働き方は大転換を迫られる可能性がある

- 仕事の指示を出す人にとっては、これほどの確に仕事をこなしてくれるものはないので、指示待ち族は要らなくなります。
- 対話するだけでプログラミングも単なる質問に答えるだけでなく、質問に合った表を作ってくれたり、プログラムも書いてくれます。

**受託マインドの社会人は
淘汰される？**

参考記事) JBpress 指示待ち族の仕事はなくなる、チャットGPTの衝撃は凄すぎる

イノベーションチャレンジとは？

新たな目的を新たな手段を活用できる**人材の育成**を目的とした**実践プロジェクト**
～**新たな価値を創造するビジネスの企画・立案**～

新たな目的に向かって事業を牽引する「**トランスフォーム人材**」や
変革に対応するための「**提案型人材**」を育成することを目的としま
す。基礎的な理論を習得し、幅広い知識を得るとともに、動画に
よるオンデマンド学習、ワークショップなどを通じて、思考力、企画
力などの実践的な力を鍛えます。

トランスフォーム人材とは？

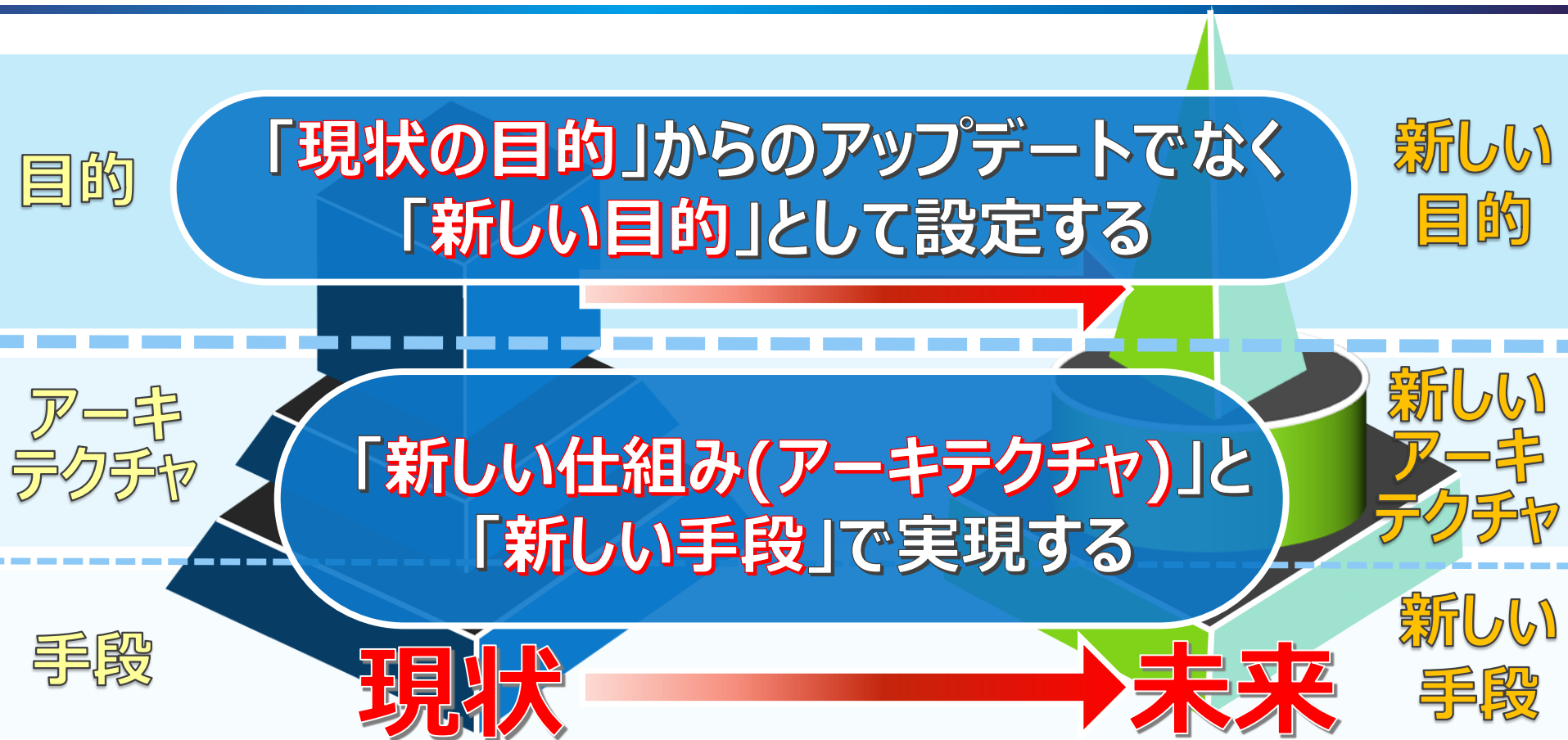
新たに実現できる**目的**を設定し、**新たな手段(※)**を活用して実現化する人

※新しいアーキテクチャや新しい手段



アイデア・企画図解) イノチャレ2023実行委員会

トランスフォーム人材とは？



提案型人材とは？

**お客様の価値を
自ら発見し、提案できる人**

言われたことだけをこなすだけでなく
自分が何をつくらなければならないのか？
何をつくれればお客様に喜ばれるのか？
俯瞰的な視座をもとに提案できる



イノベーションチャレンジは時代とともに変化

**参加募集
4/1開始!** **2023年 イノベーションチャレンジ**
~デジタル人材をトランスフォーム人材へ~

**延べ
21チーム** **2022年 デジタル人材イノベーションチャレンジ**
デジタル社会を牽引できる人材の育成

**延べ
27チーム** **2021年 DXイノベーションチャレンジ**
Society 5.0に向けたイノベーション創出

**延べ
88チーム** **2018-2020年 IoTイノベーションチャレンジ**
SDGsをテーマにIoTを活用したビジネスの企画立案

**延べ
23チーム** **2015-2017年 組込みIoTハッカソン**
課題のもとにIoTサービスを開発、実装を行う

イノベーションチャレンジ構成

研修プログラム

各界著名人による
セミナー・ワークショップにて、
知識、手法を体系立てて学ぶ講座

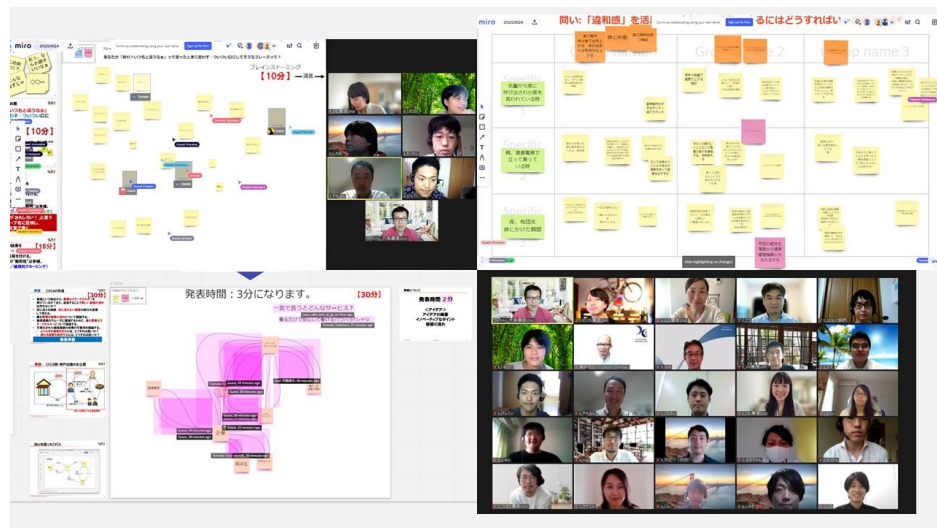
育成プログラム

新しいビジネス企画をチームにて
立案し、専門家からのフィードバックを
受けてブラッシュアップを繰り返すことで
思考・行動のトレーニングを行う

アイデア創出ワークショップ@慶應SDM

- 慶應SDM※の必修科目である授業「デザインプロジェクト」の中で教えている新価値創造の方法論「**システム×デザイン思考**」をイノチャレ参加チーム向けに広く体験していただける機会を用意いたします
- 本ワークショップは、「デザインプロジェクト」の教員陣が中心となって提供しており、システム×デザイン思考による**新価値創造を体感的**に理解していただける内容です

※慶應SDM：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科



チームビルディングワークショップ

チームビルディングワークショップ

チームメンバーを互いに知り、
コンテスト活動を進めていく上で重要なチームワークを養うワークショップです

良いチームは、良い対話から!

”Monica”を使ったチームビルディングセッション



大橋 正司 氏

モニカ株式会社 取締役



周藤 大輔 氏

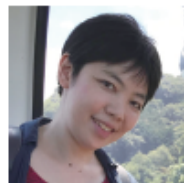
モニカ株式会社 代表取締役 CEO 兼 COO

共創のための共感ワークショップ



吉田 裕美子 氏

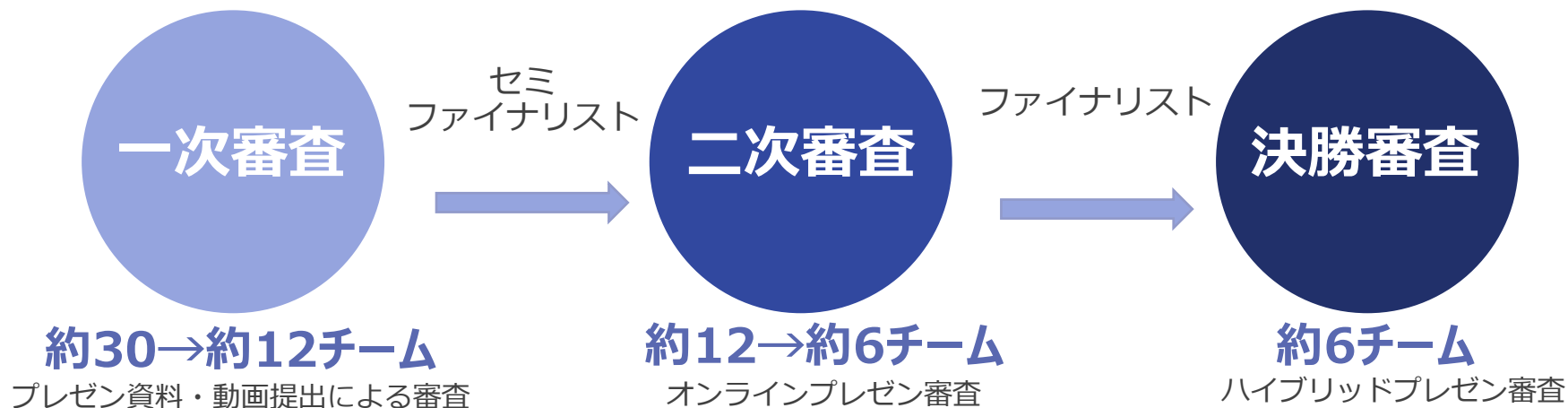
株式会社 Hyper-collaboration 代表取締役 / 組織開発、
EQ コンピテンシー開発コンサルタント



神田 ゆりあ 氏

株式会社 Hyper-collaboration
チーム変革コンサルタント

育成プログラム 審査の流れ



➤ 審査方法

- 一次審査：提出された「ビデオ(5分)」「審査資料(10枚)」を元に審査を実施
- 二次審査：各チームによるプレゼンテーションにて審査（オンライン開催）
- 決勝審査：イノベーションチャレンジ決勝大会にてファイナリストチームによるプレゼンテーションにて審査（リアル会場とオンラインのハイブリット予定）

問い(課題)

参加チームは、研修プログラム・育成プログラムを通して獲得した知識や考え方を活かし、今までにないビジネスの企画・立案にチャレンジします

➤課題

デジタル技術とイノベーションによる、**問い(※)**を解決するビジネス企画・立案

※

市場・社会の「問い」

業界・企業課題の「問い」

➤審査対象

ソリューションを表現した資料、動画、プレゼンテーション

審査項目

一次審査、二次審査、決勝大会において、次の4項目を評価する

ビジョン

- どのような「問い」に取り組むかを具体的に説明し、なぜ自分たちがこの「問い」に取り組むのかといった背景や思いを明確にされているかを評価する

アイデア

- ユニーク性があり、合理的かつビジネスを興すための工夫が考えられているかどうか等を評価する

価値

- 誰に対してどのような価値を創出するのかを踏まえた上で、新しい価値で社会的なインパクトを与えるようなものか等を評価する

実現性

- 実現に向けた問題点等の対応策が取れているのか、仮設と検証がされているのか等を評価する

参加チーム編成

➤ 1チーム当たり、3～5名

パターン1：参加企業にてメンバーを編成

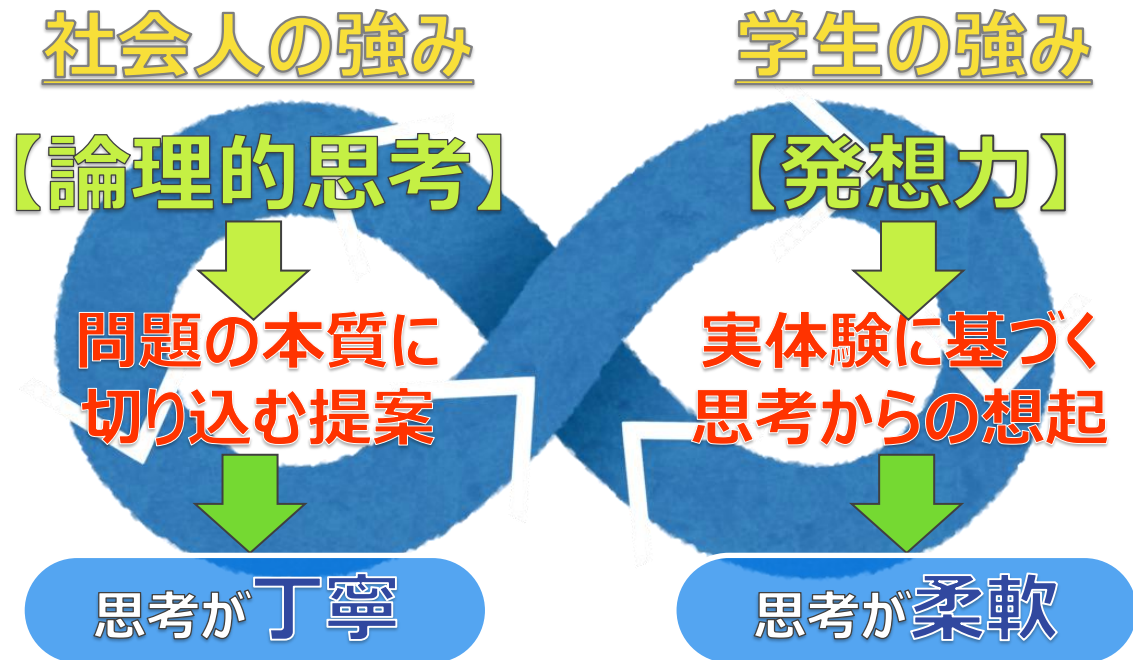
パターン2：学生混合チーム

(例：企業から2名、学生2名の連合編成)

※学生混合チームをご希望の場合は事務局にご相談ください。

(お申込み多数の場合はご希望に添えない可能性もございます)

産学連携(学生混合)チーム



- ◆社会人の期待効果
 - ✓ 学生が参加することで、より主体的なマインドの活動へ
 - ✓ (特に若手社員) 教わる立場から、教える立場へ、チーム活動やコミュニケーション習得の実践での学び
 - ✓ 俯瞰的な立場での活動が意識し、仕事でも好影響へ
- ◆学生の期待効果
 - ✓ リアルな仕事の流れを経験することにより、組織の仕組み、チームで働くことの意義を体得する
 - ✓ 企業が考える課題、仕事の成果とは何かを理解する
 - ✓ 自分がやるべきことを主体的に考えられるようになる

お互いの強みの相乗効果により、多様性でより豊かな学びへ

参加カテゴリ

カテゴリ		参加費	イノチャレ 参加権	研修プログラム			育成プログラム	
				講座視聴権	ワークショップ		プレゼンテーション	相談会
					チームビルディング	アイデア創出 (慶応SDM)		
チャレンジ+TB ※チームビルディング	一般	330,000円	1チーム	○	○	○	○	○
	JASA	220,000円		チームメンバ分	チームメンバ分	代表者		
チャレンジ	一般	275,000円	1チーム	○	なし	○	○	○
	JASA	165,000円		チームメンバ分		代表者		
ビューイング (講座視聴のみ)	一般	165,000円	なし	○	なし	なし	なし	なし
	JASA	132,000円		10人分				

※学生混合チームはオプション(チームビルディングワークショップ)とセットでのお申込みをお勧めいたします

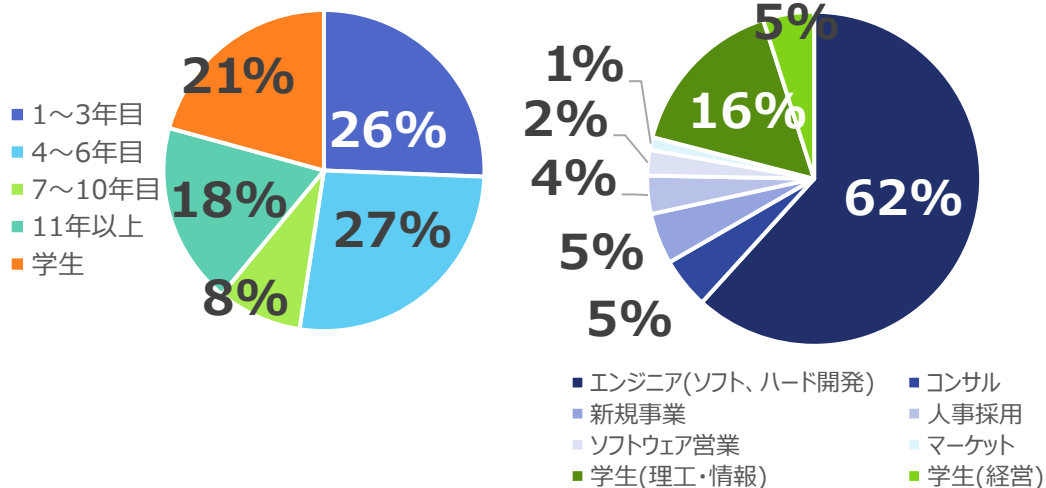
全体スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
研修プログラム	講座				●前編公開 (7月上旬) ●後編公開 (7月下旬)		※期間中は何度も視聴できます		
	ワークショップ				●チームビルディング (6月下旬) ●アイデア創出 慶応大学SDM開催 (7月中旬)				
育成プログラム	企画コンテスト	参加申し込み期間 (4/1~5/31)					●一次審査 (9月下旬)	●二次審査 (10/19,20)	◆決勝審査 (11/17)
	オリエンテーション			●オリエンテーション はじめてのイノチャレ (6月上旬)					
	相談会					●企画/検討アドバイス 集合形式 (8月中旬)	●審査前アドバイス (9月上旬)	●最終アドバイス (10月上旬)	

- : オンライン開催
- ◆ : オンライン/リアルのハイブリット開催

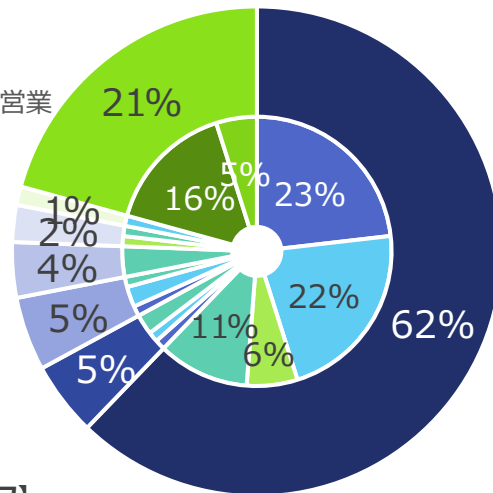
昨年参加者の情報

2022年の参加者情報（年代、職種）



【外側の円グラフ】

- エンジニア(ソフト、ハード開発)
- コンサル
- 新規事業
- 人事採用
- ソフトウェア営業
- マーケット
- 学生



【内側の円グラフ】

- 1～3年目
- 4～6年目
- 7～10年目
- 11年以上
- 理工・情報
- 経営

◆ 社会人の多くはエンジニア

- ✓ 受託スタンスの危機感の表れ
- ✓ プレゼンの苦手意識を克服
- ✓ チーム活動およびコミュニケーションの醸成

◆ 年代問わずの参加形態

- ✓ 若手層には、早い段階から提案型のマインドチェンジに期待
- ✓ 中堅／ベテラン層は、俯瞰的な視座を習得

昨年参加者の声

- 目的ベースで話す、情報得るときに視点が変わった
- 期待とプレッシャーの存在を感じつつ、失敗してもいい場
- 知らない人のとコミュニケーションを取り方やプレゼンテーションの発表や資料の作成方法が習得できた

**今後の事業活動で必要なスキルを
学ぶことが出来た**

イノベーション／提案型の人材育成

スポンサーシップ

スポンサー内容	ダイヤモンド	プラチナ	パール	エンジェル
スポンサー費用	1,100,000	660,000	330,000	110,000
ロゴの掲載 ※WEB、冊子など	○	○	○	○
チャレンジコース チーム参加権	3チーム	2チーム	1チーム	なし
講座視聴権	15名	10名	5名	5名
産学連携チームコーディネーター権	◎ (全面バックアップ)	◎ (全面バックアップ)	○ (優先バックアップ)	なし

産学連携チームよくあるQ&A

➤ 具体的に産学連携で企業側でどのような変化が起きた？

- 若手社員が参加することで、自分が主体となる行動に変化した（頼る立場から、頼られる立場へ）

■ 参加者の声

1年目だったこともあり、言われたことをこなすだけだったけど、立場的にもコミュニケーションがよくなるようになった

※プレゼン担当で、発表が上手だったので社内から褒められた

産学連携チームよくあるQ&A

➤ 学生と一緒に活動する上で、気にかけてポイントは？

- 話やすい雰囲気を作りがこころがけた
- 話のするタイミングを平等に与える
- 活動時間が社会人と学生で異なるので、メリハリをつけた
→ 個人活動も計画的にスケジュールし、集合できる時間を決めて一気に作り上げる

■ 参加者の声

最初のコミュニケーションがむずかしかったけど、慣れたらスムーズに活動が進められた